



あした 未来へつなぐ

JR北海道グループは、お客様の安全を最優先に、安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。



運転シミュレータ。

JR北海道社員研修センターが札幌市手稲区に移転。安全意識・安全コンプライアンス意識の醸成、実践的な訓練による技能習得の場として運用されています。

北

北海道の鉄道の安全輸送を支えるのは、JR北海道の社員です。着実な点検や修繕等により日々の安全は実現されます。その社員の安全意識や技能教育の場となるのが社員研修センターです。

これまでの社員研修セン

が特徴です。
具体的には、天井クレーンを設置した「技能実習室」、駅窓口のカウンターや自動券売機、自動改札機を設置した「接客実習室」など、現場と同じ

環境で技術や技能を学ぶことができる実習室を新たに整備しました。
また、線路、踏切や信号機器などを設置し、これらを活用して保安設備や運転取り扱いの基礎を学ぶ「運転訓練室」のほか、屋外に整備した、全長約七百メートルの実習線では、営業線と同様の線路、ホーム、信号、踏切、通信機器などのほか、訓練用車両を配備し、信号等に異常が発生した場合に列車を安全に移動するための手順や、これら機器の検査や修繕の実習を行うことができます。

新しい社員研修センターでは、机やイスのある一般的な研修室の他、鉄道の技能・技術を現場の状況に即して学べる実習機能とともに、安全意識や安全コンプライアンス意識の醸成の場として「安全研修館」を新設、増設したの

「総合訓練室」では、事故や故障などの異常が起きた状況を再現できる「運転シ



実習線。

ミュレータ」を増設し、運転士と車掌がこれらに適切かつ速やかに対応する実践的な訓練を行います。

「安全研修館」では、石勝線列車脱線火災事故から函館線大沼駅構内貨物列車脱線事故・線路検査デタ改ざん等の一連の事故・事象、事業改善命令・監督命令を受けた当社の現状を振り返るとともに、「JR北海道安全の再生」をはじめとする当社の安全についての考え方を理解し、安全意識及び安全コンプライアンス意識を醸成します。

これらの研修施設を最大限に活用し、社員一人ひとりが鉄道の安全な運行やよりよいサービスの提供に必要な業務知識及び確かな技術力を身につけ磨き、安全輸送を支えていきます。●